



# タバコシバンムシ

乾燥した食物やタタミが大好きな虫

発生時期												
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

発生   多い

世界各地に分布する害虫です。

幼虫は、乾燥した植物質（穀粉、乾めん、菓子、チョコレート、各種スパイス、ココア、ハーブ、漢方薬、タバコ、ドライフラワー、タタミ、油かす等）を中心に、干魚、ペットフード、昆虫の死骸等も食害し、その範囲が広いことで有名です。

## 生態

室内でよく見つかりますが、成虫は餌をとりません。成熟した幼虫は白いウジ状、C字形をしています。幼虫は表面に食べかすや糞が付着して、互いにつながった繭を作ります。タタミ等では、表面に成虫の脱出孔（直径1～2mmの穴）をあけるので、発生の目印になります。数多く発生すると、寄生蜂のシバンムシアリガタバチが同時に発生し、人を刺すことがあるので、注意が必要です。

よく似た虫にジンサンシバンムシがいます。生態は同様ですが、東京ではタバコシバンムシが多くみられます。

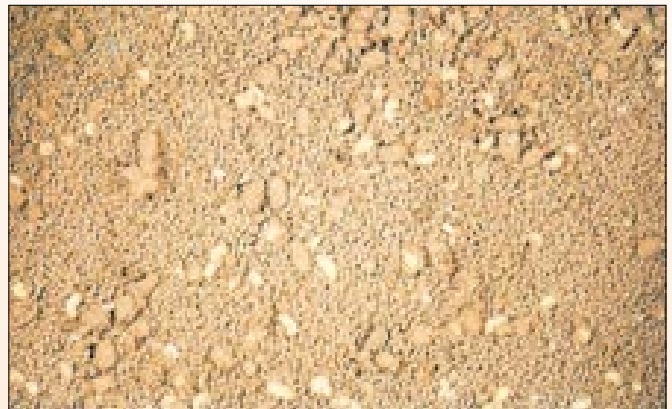
## 対策

被害物が小さい場合は、電子レンジで加熱したり、冷凍庫に一晩入れておけば駆除できます。発生源が不明な場合は、タタミの裏、ドライフラワー、ペットや魚の餌等にもつくので、よく調べてください。タタミの場合は、加熱乾燥すると効果的です。



タバコシバンムシ成虫  
(体長2～3mm)

幼虫とマユ



ココアに発生した幼虫(体長3mm)



ドライフラワーにあいた脱出孔

(写真提供：東京都)